

ジュニアゴルファー育成方法論

横井 信正*

A Study of how to Foster Junior Golfers

Nobumasa Yokoi*

はじめに

人生を豊かに送るための一つの条件として、生育期にスポーツを経験して、心身の発達を促進させておくことがある。残念なことに、最近は児童・生徒においてスポーツ離れが著しいといわれている。しかし、学校や地域のスポーツ団体に加入することはしないが、個人で自由にできるスポーツがあれば体験してみたい者も数多くいると考えられる。この体験願望のある児童・生徒にとってみると、参加したい種目が少なく、そのためスポーツを体験できない一面がある。

ゴルフは老若男女の誰もが実施できる種目の一つでもあり、エチケット・マナーを重んじるスポーツでもある。小学生から体験することにより、将来ライフスポーツの一種目にゴルフを加えることができれば、より豊かな人生を送ることができるのではないかと考え、西条市ゴルフ協会にジュニア・ゴルフスクールを開設した。

I. 西条市ゴルフ協会の概要

昭和63年に設立して西条市体育協会に加盟している。主な事業として

1. 西条市民ゴルフ競技大会の開催
2. 技術研修会や講習会の開催
3. ジュニアゴルファーの育成
4. レディースゴルファーの普及

事業の1と2は、毎年行っている「市民親善ゴルフ大会」や「市長杯争奪小学校校区対抗」によって、初期の目的を達成している。

3のジュニアゴルファーの育成については、平成3年と4年にゴルフ協会役員の口コミで受講生を募集して実施したが、受講者が少なく2年で取りやめとなった。

4のレディースゴルファーについては一人でも多くなることを期待して、大会参加を呼びかけたり、賞品に工夫をしている。

II. ジュニアスクール実施計画

ジュニアゴルファーの育成については、過去に中断した経験から、今回は平成12年5月に弓削商船高専2年生と新居浜東高2年生の2名をモデルとして、小松ゴルフ練習場で指導を始めた。デモンストレーション的な内容を含めて指導したので、一般ゴルファーに強烈にアピールすることができた。

そのときの雰囲気からスクールを開講してゆける手応えを感じたので、7月からスクール開設のため、指導スタッフの人選とインストラクターの養成を始めた。9月で準備が完了した機会に、10月から小松ゴルフ練習場・愛光ゴルフガーデン・正ゴルフ倶楽部と市内3箇所の練習場にポスター掲示と募集要項を配布して生徒募集を開始した。

1. 募集要項

1) 目的

ゴルフを通して、青少年の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。そのために、基礎から高度に至る技術の習熟、健康管理を含む体力作り、ルールを研究すると共に遵法精神の涵養、ゴルフの知識やスポーツマンとしての礼儀作法の習得等など、人格の形成が行われるようにする。

2) 対象 小学生4年以上・中学生・高校生で保護者の同意のある人

(西条市以外の生徒も歓迎いたします)

3) 受講料 無 料

ただし、練習場のボール代金とラウンドレッスン時の料金は、ジュニア料金を自己負担。

事故については、自己責任となりますので、各自保険に加入しておいてください。

4) 実施要領

ア、指導練習日 隔週土曜日か日曜日を原則にする

イ、練習場所と練習費用

| | | |
|-----------|------|------|
| 愛光ゴルフガーデン | 打ち放題 | 500円 |
| 正ゴルフ倶楽部 | 打ち放題 | 500円 |
| 小松ゴルフ場 | 一球 | 4円 |

(小松ゴルフ練習場のジュニア会員に限る)
西条ゴルフ倶楽部 徒歩の練習ラウンド
ハーフ 1,000円

- 5) ラウンド指導
西条市ゴルフ協会役員

2. インストラクターの養成

- 1) 「多忙な人に優秀な人が多い」と思い人選した結果、高校を定年退職者1名、高校教諭1名、民間企業の役職者4名の6名が参加してくれた。
- 2) 毎週日曜日午後7時～10時の3時間、合計7回にわたって小松ゴルフ練習場で理論と実技講習を実施した。
- 3) NGF FAR EAST の資料を中心に、日本ゴルフ学会や日本ゴルフ学会傘下で行われているコミュニティーカレッジでの知識に加えて、弓削商船高専に授業や公開講座で行った指導方法を取り入れて教授法の骨組みにした。
- 4) ルールについては、三集出版のルールテスト問題を回答して行く形式をとった。
- 5) 技術指導のポイント
 - ア、初歩の場合は、ジュニアが自分自身で確認ができる体の部位の動きを中心にした。
 - イ、部位の動きができるようになると、他のジュニア生のスイングフォームを指導することによって、自分が行うスイングを指導することによって、自分が行うスイングを再確認するようにした。
 - ウ、他人のフォームチェックが行えるようになったとき、力学的に合理性のある動きを理論的に理解させる。
 - エ、最終的には、応用技術や個人の持っている感覚的なものを生かせる方法に移行するよう配慮した。

参考資料

- ・日本ゴルフ財団 (NGF)
GOLF INSTRUCTOR'S GUIDE
- ・NGF FAR EAST
Audiovisual Aids
- ・日本ゴルフ学会のゴルフ学体系
- ・その他
小林正義・片山健二著 ゴルフ指導教本 大修館
芝健太郎 ゴルフルール教本 廣済堂出版
ルールテスト問題 三集出版

インストラクター養成の講習を受講した全員にジュニアの指導をお願いしたが、現職の人は仕事上の関係で、指導日程がとれないことが多くなり、現在は時間に余裕のある岡田・横井の2人が第2土曜と第4土曜日に指導している。

第2回のインストラクター養成は、12月から始める予定であるが、時間を確保できる人をお願いすることにし

ている。

3. 指導スタッフの人選

一般のインストラクターが行っているように、1人がすべてを教えるのではなく、分野別専門家の集団で指導することによって、単にゴルフ技術の指導のみではなく、全人的人間形成の一環としてゴルフを指導できるように配慮した。

1) 人選の要旨

- ア、社員教育を専門に各地で講演するなど活躍している人をヘッドにした。
- イ、ルールの指導は日頃から競技委員としてルールについて指導の立場にある人。
- ウ、身体トレーニングと栄養指導が行える人。
- エ、グローバル化の時代に対応できるように英語教育ができる人。
- オ、礼儀作法や言葉使いを指導できる人。
- カ、技術が向上して高度な事象が要求されるようになったときは、全国大会出場経験者が指導にあたる。

2) 指導スタッフ

- ・総括
井上隆寿 西条市ゴルフ協会会長
共同建築設計社長
- ・ルール指導
阿蘇 弘 西条市ゴルフ協会副会長
西条市ゴルフ協会競技委員長
中家 修 弓削商船高等専門学校教授
高橋邦弘 今治カントリー倶楽部競技委員
- ・体作りの指導
岡田孝哉 (元) 西条高等学校教諭 (保健体育)
- ・ゴルフ英語の指導
二宮 惇 (元) 西条高等学校校長 (英語)
- ・言葉使いの指導
森本隆雄 (元) 西条高等学校教諭 (国語)
- ・基礎技術の指導
横井信正 西条市ゴルフ協会理事長
岡田孝哉 (元) 西条高等学校教諭
真木和親 西条市ゴルフ協会総務副委員長
高橋邦弘 今治カントリー倶楽部競技委員
鈴木 優 東予高等学校生徒課長
- ・戦略・競技大会の指導
浜西文夫 愛媛県体育協会理事
今治カントリー倶楽部競技委員長
青野 章 四国シニアチャンピオン

Ⅲ. 月別ジュニア生人数

1. 練習場別人数 (主に練習している場所)

小松ゴルフ練習場 8名、愛光ゴルフガーデン 8名、正ゴルフ倶楽部 19名

| 年・月 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 高専生 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|
| 12・10 | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 13・1 | 5 | 3 | 3 | 1 | 12 |
| 13・2 | 7 | 4 | 3 | 1 | 15 |
| 13・3 | 8 | 6 | 4 | 1 | 19 |
| 13・4 | 4 | 13 | 4 | 1 | 22 |
| 13・5 | 5 | 13 | 8 | 1 | 27 |
| 13・8 | 8 | 15 | 8 | 2 | 33 |
| 13・9 | 9 | 16 | 8 | 2 | 35 |

2. 出身地別人数

今治市1名、東予市6名、西条市18名、新居浜市10名
35名のジュニア生中、半数が意欲的に練習を行っている。

IV. 練習施設との交渉

1. 練習場関係

1) 愛光ゴルフガーデンと正ゴルフ倶楽部の練習場においては、スクールの練習日（第2土曜と第4土曜）以外の日も、ジュニア生は打ち放題500円、保護者とセットで1,500円に交渉した結果、保護者と子弟と一緒に練習しやすい料金になった。

なお愛光ゴルフガーデンでは独自の愛光ジュニア生を募集して、1ヶ月2,000円で打ち放題の制度を設けている。

2) 小松ゴルフ練習場は練習場とコースがあり、練習場独自のジュニア料金を設定して、小松ゴルフ練習場のジュニア生を募集している。インストラクター不在のため、西条市ゴルフ協会のスタッフが、レッスン希望者のみ指導しているため練習場の料金に従っている。

2. ゴルフ場関係

西条ゴルフ倶楽部（保護者は別途割引料金）

| | 平日徒歩 | 平日カート | 土日カート |
|-------|-------|-------|-------|
| 9ホール | 1,000 | 1,500 | 2,600 |
| 18ホール | 1,500 | 2,500 | 4,000 |

滝の宮カントリークラブ（保護者は1名はメンバー料金）

| | 平日カート | 土日祝カート |
|-------|-------|--------|
| 9ホール | 3,250 | 3,250 |
| 18ホール | 4,300 | 4,300 |

小松ゴルフ練習場

| | 平日コース | アプローチコース | 土日祝コース | アプローチ |
|-------|-------|----------|--------|-------|
| 9ホール | 1,700 | 700 | 2,200 | 1,000 |
| 18ホール | 2,400 | 1,200 | 3,700 | 2,000 |

・愛媛ゴルフ連盟は、日本ゴルフ協会登録者が県内のゴルフ場でプレーするときは、メンバー料金にしている。同伴する保護者も1名はメンバー扱いになっているが、メンバー料金は表のジュニア料金より高い料金である。

V. 講習会の開催

各自の進度には、ばらつきが出てくることは仕方のないことであるが、ゴルファーとして基本になる共通の知識を習得させることと、西条市ゴルフ協会ジュニア生としての自覚と仲間意識を持たせるために、年2回は合同講習会を開催することにしている。第1回の合同講習会を下記のように開催した。

平成13年4月14日（第2土曜日）

西条市ひうち会館 10時～12時

午後2時から打ちっぱなし練習

参加者：ジュニア生22名、保護者11名

講習内容

1. 潜在意識と意欲 井上隆寿
2. ルールとマナー 阿蘇弘
3. トレーニングと栄養 岡田孝哉
4. コース攻略 青野章

なお愛光ゴルフガーデンにおいて、30名程度のミーティングルームが完成したので、講習会開催の場所を確保するのが容易になった。

VI. 打球練習とラウンドレッスン

1. 月2回の指導日は第2土曜と第4土曜日の下記の時間に定着した。

小松ゴルフ練習場 10時～12時

愛光ゴルフガーデン 13時～15時

正ゴルフ倶楽部 15時～17時

2. 技術やルール・マナーについては、各練習場で年齢に応じて指導しているが、練習場間では若干の差異が見られる。小松ゴルフ練習場で練習している4名は競技大会参加を希望しているので、知識と技術の内容が他のジュニア生より高度になってきている。

3. 愛光ゴルフガーデンの小学生と、正ゴルフ倶楽部の中学生・高校生は、いずれも月2回（第2土曜と第4土曜）の練習を楽しみにしている状態なので、技術的にもゴルフに関する知識も初歩の状態が続いている。

4. 練習日以外に、春休み・夏休み・冬休みの長期休業中は、西条ゴルフ倶楽部での基礎的ラウンドレッスンと大会会場で参加のためのラウンドレッスンを行った。

Ⅶ. ラウンドレッスン時の要点

1. クラブハウスでのマナーとして、挨拶・脱帽・洗面台をきれいに使用させた。
2. 練習グリーンはボール3個以内、人の邪魔にならないところで練習するように工夫させた。
3. プレーの進行については、安全に注意しながら、機転を利かせ機敏に行動ができ、しかも感じの良いプレーが行えるようにした。
4. ルールについては、ティーグラウンド・スルーザグリーン・ハザード・グリーンに分けて指導した。
5. 練習時のスイングフォームでプレーできることが大切と指導した。

Ⅷ. 大会参加の成績 (スコアー)

| 年・月 | 12・8 | 13・3 | 13・8 | (13・8) |
|-----|------|------|------|--------|
| A 君 | 109 | / | 98 | 106 |
| B 君 | / | 116 | / | 96 |
| C 君 | / | / | 88 | 94 |
| D 君 | / | / | 120 | 130 |

- ・12年8月と(13・8)は松山シーサイドカントリークラブにおけるヤングゴルフ
- ・13年3月是新居浜カントリー倶楽部での「FUTURE」ジュニアゴルフ選手権大会
- ・13年8月は西条ゴルフ倶楽部での西条市民親善ゴルフ大会

Ⅸ. 指導者について

ジュニアを育成する場合は、良い指導者が居ればほとんどの問題を解決することができる。従って、指導者に重要な使命が課せられることから、次のことが要求される。

1. ジュニア生の指導に相応しい人格の持ち主である。
2. 指導書や文献に目を通すことができる人。
3. 学校教育や社員教育を経験している人は、技術に関する指導理論や技術を習得すること。
4. プロやアマチュア・ゴルファーでジュニア指導に興味・関心を持っている人は、コーチング(技術指導)はできるのでティーチング(総合理論指導)が行えるように、ゴルフの歴史・ルール・戦略・生理学などゴルフに関する知識を総合的に学習すること。
5. ルールに無頓着であったり、未成年の飲酒・喫煙に寛容であったり、賭け事を賛美することに出くわした時は、断固として毅然たる態度で指導できる人。
6. 現職や自由業の人は、時間に制限があり、実際の指導はできにくいので、時間をフレキシブルに使え人。

7. 第一線で活躍しているプレーヤーは、自分のプレーが第一になるので継続的指導は難しく、スポットのコーチに適している。

8. 四国ゴルフ連盟に、愛媛県で100~200人のジュニア指導者の養成とゴルフ協会を設立をしてはどうか具申したことがある。

各地域に協会が設立され、その中にゴルフ連盟認定の指導者が誕生すれば、各地でゴルフ好きのジュニアを数多く育てることができ、その結果ゴルフ人口が増加となって、ゴルフ界の隆盛が期待できるようになる。また、ジュニアプレーヤーの増加に伴って底辺が拡大されトッププレーヤーも輩出される。やがてジュニア達は大人になって、ゴルフによって健康な生活を送ることができるになれば、ゴルフが幸福な生活を築くことに貢献できるのではないだろうかと考えたからである。

ま と め

正式にスタートして、試行錯誤の丸1年であった。

1. 愛光ゴルフガーデン・正ゴルフ倶楽部の練習場と西条ゴルフ倶楽部・滝の宮カントリークラブのゴルフ場がジュニアゴルフに理解を示して廉価な料金を設定してくれたので指導がしやすくなった。
2. 意外に多くのジュニアがゴルフを体験してみたいと思っていたことが判明したので今後が楽しみである。
3. ゴルフを楽しんでいるプレーヤーは多くいるが、ジュニアを指導できる条件が揃っている人は、非常に少ないことであった。現実に隔週土曜の指導とコースへの引率は、岡田・横井の2人で行うようになってしまっている。
4. ジュニアを引率して感じることは、保護者の経済的負担が大きすぎることである。大会はメンバーと同様の費用でプレーできるが、トータルで1日一万円前後の経費は、ジュニアにとって高額過ぎるということである。これからジュニアゴルファーを増やそうと考えるならば、廉価な「ジュニア料金」というプレーヤーを検討してもらわなければならない。今後はそのための努力もして行きたい。
5. 夏休み中は、家庭や地域の行事に参加するため、練習できないジュニア生が多かった。このことがゴルフから遠ざかる原因になり、9月からの練習に参加しないジュニア生が多くなったので、今後は長期休業中の対策を痛感している。
6. 指導している2人が元教師ということで、中学・高校生の進路相談をできることが特徴であった。
7. 協力者が19名となり、クラブ14セット、ロストボール約1,700個、その他キャディーバック・パター・ドライバー・ウエッジなどを提供していただき、ジュニアの用具が整いつつある。

最 後 に

西条市ゴルフ協会は、他のスポーツ団体のように、地域協会が指導員を養成して、その指導員がジュニアを育成することができるテストケースである。このジュニアゴルフスクールをぜひ発展・成功させ、ゴルフ界の指針づくりに貢献できればと考えている。

別の観点から、弓削商船高専でゴルフを授業に取り入れたり、大洲青年の家・阿蘇青年の家でのゴルフ教室や弓削商船高専の公開講座でゴルフを実施したノウハウが、場所と対象は異なるが、別の形に変わって愛媛県西条市でジュニア達に継承されていくことに意義があると考えている。

